

# 令和6年 美濃焼新春見本市 多治見地区と初の合同開催 伝統を生かした産地として 発信力の強化を！

瑞浪陶磁器工業協同組合(松崎英之理事長)と恵那陶磁器工業協同組合(川本慎行理事長)は、1月11日(木)と12日(金)に新春見本市を開催した。

今年は「美濃焼新春見本市」美濃焼2024、創造と新たな挑戦」として多治見地区と初の合同開催。場所を例



▲来場客で賑わう瑞浪地区ブース



▲彩り豊かで形もユニークな新商品が多数お目見え

年の瑞浪市総合文化センターから、セラミックスパークMINO(多治見市)に移した。瑞浪市からは計14社が出展。会場には新作を含め約3000点が並んだ。カラフルで工夫を凝らした個性豊かなデザイン・形状のものや、再生土で作った「Re 食器」(リサイクル食器)も多種多様なものが揃った。バイヤーら招待客は商品を手に取り、各社と活発な商談を交わした。2日間で1334人が来場。出展者からは「合同開催にしたことにより来場するバイヤーも増え、販路が広がるのが期待できる」「来場者の利便性



▲バイヤーたちが商品を手にとって吟味 ▲縦の空間を活かしたディスプレイ



▲「転写貼りは勤が大事。」と加藤さん(右)

## 白慢のいっぴん紹介コーナー Vol. 40

### 瑞浪の小さな工房から、世界へ、 絵付け皿の転写貼り職人 加藤明代さん



今回は、「いっぴんの技術」ということで、ひまわり工房の加藤さんが持つ職人技をご紹介します。

取材に伺った当日は、娘さん(三女の育子さん)と二人で転写絵付けの真っ最中でした。ラジコをBGMに、黙々と手を動かします。

その技術の高さは、誰もが知る有名ブランドのノベルティの転写貼りを手掛けるほど。しかし、「大人の事情でそれを大々的に宣伝できないんです。私たちは影武者のような存在。」と笑います。同業他社から難しい転写貼りの相談を受けることもしばしば。

業界でもその技術の高さは認識されています。加藤さんは、ポーセラペンディングアートティストとしての顔も持ちます。20年ほど前に本格的に学び始めました。月1回、東京の陶絵付教室へなんと5年間休まず通い続け、西洋陶絵付ポーセラペンディングアートとして認定されました。晴れて卒業後の2009年には市内で作品展を開催し、草花などを手描きならでは

優しいタッチで描いた作品で好評を得ました。「今年度の瑞浪高校の地域連携プロジェクトで、陶町の魅力を伝える取り組みがあり、絵付けで協力させてもらった。若い方たちに陶磁器業界を盛り立ててほしい。」と、地元と業界への熱い想いを語る加藤さん。いつかペンディング教室などを開催して技術を伝えていきたいと、自身の夢も膨らみます。

ひまわり工房  
瑞浪市陶町水上3568  
☎65・4280

Web開催・参加費無料

～部下・若手社員の育成を目指す～

コミュニケーション  
スキルアップセミナー

部下、後輩への接し方と具体的な指導方法を身につけましょう。  
当日の詳しいスケジュール等は、瑞浪商工会議所HPをご参照ください。

3月5日(火) 13:30～16:30(ZOOM開催)

講師：北川 ゆう 氏 チェシーズプランニング  
申込締切：2月22日(木)  
(定員40名になり次第締切)

申込方法：①QRコードからフォーム送信  
②申込書記入の上FAX送信  
FAX:058-213-0165  
(申込書は右記HPからダウンロード可)

お問合せ先 公益財団法人日本電信電話ユーザ協会 岐阜支部  
☎ 058-213-0120

晩冬の候、皆様におかれましてはますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。また、旧年中は(一社)瑞浪青年会議所に対し格別なご高配を賜りましたことを心から御礼申し上げます。

本年度は、「愛と志を胸に」をスローガンに掲げ一年間活動してまいります。瑞浪の未来を担う子供たちには、自分に自信を持ち、様々なことに挑戦し、失敗をしても諦めない心を大切にしてほしいです。自分を認めて尊

重することで自己肯定感を高め、自分にはできるという自己効力感を持てるような活動をしていきます。夢を描き挑戦することが当たり前の子供たちが増えることは、JCIが目指す明るい豊かな社会へと必ず繋がります。

12月17日(日)に、年末恒例の「瑞浪バサラカーニバル」(バサラカーニバル)が開催され、会場となったJR瑞浪駅周辺は多くの賑わいをみせました。

16日(土)の前夜祭には、時折小雨が降る中約500名が参加。和気あいあいと演舞や企画ゲームなどを楽しみ、踊り子同士の交流を深めました。

本祭には全国各地から180チーム約6千人の踊り子が集結し、寒風吹きすさぶ中、熱い演舞を繰り広げました。会場内にはキッチンカーやテント約50軒が連なり、温かい料理や飲み物で踊り子や訪れた人々たちを楽しませました。

コロナ禍前のバサラ



▲中京高校ALL STARSの迫力ある演舞



▲はじける笑顔!総踊り(写真提供:瑞浪市)

JCI  
Mitsumi

2024年スローガン「愛と志を胸に」  
(一社)瑞浪青年会議所 第60代理事長 岩島 敬

また、我々の暮らす瑞浪市は4月1日に市制70周年を迎えます。先人のためみない努力により、受け継がれた自然、歴史、文化を大切にし、奉仕の心をもって活動してまいります。

本年もご支援ご協力をお願いするとともに、皆様のご多幸を祈念し、挨拶とさせていただきます。

瑞浪商工会議所常議員の加藤健二様が令和5年11月26日にご逝去されました。

加藤様には、平成13年11月より監事、平成22年11月より常議員に就任いただき、長きに亘り当所の発展に尽力いただきました。

深甚より哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り致します。



瑞浪商工会議所常議員の加藤健二様が令和5年11月26日にご逝去されました。

加藤様には、平成13年11月より監事、平成22年11月より常議員に就任いただき、長きに亘り当所の発展に尽力いただきました。

深甚より哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈り致します。

## 訃報